

歩くことで元気に

セーフティーアーム®を使用して、リハビリ・歩行することで体力が消耗します。体力が消耗すると空腹を感じ、食事を美味しく食べることができます。また、歩くことで脳が刺激され、意欲が増すと「あれが食べたい」「ここへ行きたい」などの要求が出るようになります。自分でできることが増えるとそれが「楽しみ」となり、生活にメリハリができます。

歩行訓練だけでなく、お散歩やお買い物など楽しみながら歩行する時間を積極的に取り入れてみてはいかがでしょうか？

使用環境の整備を忘れずに

室内で使用する場合、毛足の長い絨毯はキャスターに絡まり、敷居などのちょっとした段差でも歩行器がスムーズに走行できない原因となります。また、壁や家具などに歩行器がぶつかりキズが付いてしまう場合も考えられます。歩行器導入の際は使用環境の整備と動線の確保、壁や家具の保護などもご提案ください。

セーフティーアーム®シリーズは約40種類

一般的な固定式・交互式・キャスタータイプ・ハンドルブレーキタイプ・アームレストタイプなどの歩行器・歩行車が約40種類あります。握り手やハンドルの形状・ブレーキ操作方法・特大かご・座面付きなどお身体の症状はもちろん、使用する場所・使用目的などに合わせて選択できます。下表を参照して歩行器を選択してみましょう。

車いす前のリハビリに

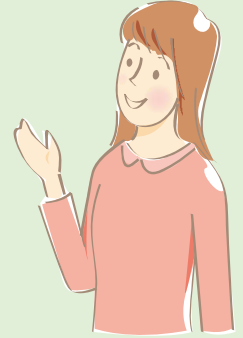
歩行に不安があり、転倒をおそれて使い始める車いす。座ったままの状態が続き、脚を使わないことで次第に筋力が衰え、立つことも歩くことも、ままならなくなることも考えられます。自立歩行が不安な場合、セーフティーアーム®シリーズが歩行をサポート。「立つ力」と「歩く力」をリハビリしましょう。脚のリハビリはもちろん、歩行器を持ち上げたり、ブレーキをかけたり、グリップを握ることで手のリハビリにもなります。

専門家に相談しましょう

お身体に合わない歩行器を使用すると症状の悪化や転倒の原因となるおそれもあります。

また、お身体の症状が変わり、歩行器がお身体に合わなくなる場合もあります。

セーフティーアーム®シリーズを選択する際や、高さを決める際、また、お身体に合わせて歩行器を再選定するなど医師・理学療法士・ケアマネジャー・福祉用具専門相談員・介護福祉士などにご相談ください。



歩行器 固定式	歩行器 交互式	歩行器 固定式	歩行車 4脚2輪タイプ	歩行車 4輪タイプ	歩行車 4輪タイプ	歩行車 6輪タイプ	歩行車 4輪・ハンドル ブレーキタイプ
SAR	KSAR	SAWR	SAWCR	SAWMR	SAWGR	SAWLR	SAV
16	17	19	20	21	22	22	23
○	○	○	○	○	○	○	○
—	—	—	3インチ	3インチ (○)	4インチ (○)	5インチ (○)	7インチ ミニタイプは5インチ (○)
—	—	—	—	3インチ	4インチ	3インチ	5インチ
—	—	—	○	○	○	○	○
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	オプション クリップトレイ取付 OK	オプション クリップトレイ取付 OK	オプション クリップトレイ取付 OK	オプション クリップトレイ取付 OK	オプション クリップトレイ取付 OK
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—